

令和7年6月24日

◎田中委員長 ただいまから、総務委員会を開会いたします。

(9時59分開会)

《意見書》

◎田中委員長 それでは、意見書を議題といたします。

意見書案2件が提出されております。

まず、消費税の減税を含む物価高騰対策の実施を求める意見書(案)が、日本共産党から提出されております。

意見書案の朗読は省略したいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

◎田中委員長 それでは、御意見をどうぞ。

小休にします。

(小休)

◎ 不一致でお願いをしたいと思っております。おっしゃるとおり、消費税減税については、与党内でも賛否がありまして、確かにやるべきじゃないかというお声があるのは文章に記載しているとおりなんですけれども、中段にある1人当たり2万円の現金給付に対してはというところは、妥当性があると思っております。やはり下段に書いていただいておりますけれども、緊急の施策として消費税の減税を含む物価高騰対策に踏み出すという、まさにこの現金給付が非常に有効な手段じゃないかと思っておりますので、ここについては不一致をお願いしたいと思っております。

◎田中委員長 正場に復します。

意見の一致を見ないので、本意見書の検討を終わり、議会運営委員会に差し戻します。

次に、日本学術会議の独立性と自主性を保障することを求める意見書(案)が、日本共産党、県民の会から提出されております。

意見書案の朗読は省略したいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

◎田中委員長 それでは、御意見をどうぞ。

小休にします。

(小休)

◎ 不一致でお願いをしたいと思っております。全面的に立つ位置が違うなという思いです。

◎田中委員長 正場に復します。

意見の一致を見ないので、本意見書の検討を終わり、議会運営委員会に差し戻します。

《決議》

◎田中委員長 次に、決議を議題といたします。

決議案1件が提出されております。

イスラエルによるイランへの大規模先制攻撃を非難する決議（案）が、日本共産党、県民の会から提出されております。

決議案の朗読は省略したいと思います。よろしいでしょうか。

（異議なし）

◎田中委員長 それでは、御意見をどうぞ。

小休にします。

（小休）

◎ 構いませんでしたら、修正案をお願いして全会一致で、得られるのであれば、それをお願いしたいと思っております。文案をお配りさせていただきたいです。

◎ 頂いた文案の中に、上から3行目の、子供を含む200人以上が犠牲になっておりとありますが、もう既に430人と公式の数字が出ていまして、ですから400人以上としたらどうかと思います。それ以外は、異議はありません。

◎ これでいいと思います。ただ、今朝の報道によると、停戦の合意がなされそうだという、そういった報道も。イスラエル側が、正式な発表はまだしていない状況ですけれども、停戦になることも考えられる状況が出てきております。閉会日までに、停戦になった場合に、この決議をどうするのか。一応委員会としては全会一致になっての提出になると思うんですけれども。停戦になった場合に、本会議においてどうするのか。取下げをするのか、どうするのか。その辺りは検討を。ここで検討すべきなのか分からないですけれども、そういう状況があるということです。

◎ うちとしたら、今日は今日。新聞報道なんか見ても何かイランが停戦に応じるようなことも書いていないので、どうなるか分かりませんが、今日は今日で、全会一致で出すことを決めて、あと、そうなった場合には、また場所を設けて、取り下げるかどうかについて議論すべきだと思います。

◎ 同じです。大きい情勢の変化があれば、取下げをしたほうがいいんじゃないかと思っ

ております。

- ◎ 私もそれに、賛成です。さっきの話ですけど、イランは合意に達したいんですよ。さっき言ったように、なかなかイスラエルは、そうもいかんのでどうなるか本当に分かんんです。結果として先ほど言いましたように、本当に合意に達するのであれば、それまでに……
- ◎ 終結となればね。
- ◎ 正式にどうするかをまた改めて決めて。まだ、分かんんです。
- ◎ そうなったときは最終日に判断をすることにすればいいわけで。
- ◎ 議運がありますからね。
- ◎ そのままこれを出すとすればいいと思います。
- ◎ 委員会の手続としては、どういう手続になりますか。
- ◎ 委員会としては、全会一致で出す。
- ◎ 今回全会一致で、先ほど、一部修正の提案がありましたけれど、200人のところを400人に換えることで、全会一致。それぞれ御意見がありましたように、今日の報道も既にありますように、停戦合意というような報道も出ている状況で、27日が閉会日。27日に、実際本会議において諮るわけでありますので、それまでにどうするかは、総務委員会で全会一致で出しているの、総務委員会で判断をすることになると思います。
- ◎ そうすると、閉会日にもう一度状況の変化があった場合には、委員会を開催するんでしょうか、それとも議運かどこかでの判断になるのか。その辺りはどんな感じになるんでしょうか。
- ◎ 総務委員会で、これを全会一致で通した場合には、あくまでも総務委員会と委員の連名で出すわけでありますので、総務委員会で、本会議に上げていくことになります。先ほど御意見もありましたけれども、状況が変われば、まだそのときにどうするかは、正副委員長にお任せいただいて、皆さんにお諮りさせていただくことで構いませんか。
- ◎ はい。
- ◎ 整理させていただきますけれども、今日の総務委員会の段階では、この決議案に対して、先ほど申し上げましたように、200人を400人ということで、全会一致で提出する方向で。その上で、これから様々な状況の変化によって、早期収束を求める決議でありますので、状況が変わった場合には、正副委員長の判断によって皆様方にお諮りをさせていただくことでよろしいでしょうか。
- ◎ 異議なし。

◎田中委員長 正場に復します。

それでは、この決議は、当委員会の委員全員をもって提出することとし、細部の文案の

調整は正副委員長一任ということにしてよろしいでしょうか。また、繰り返しになりますが、報道のとおり、停戦合意等の報道もある中、今後、状況が変化し、取り下げるような場合は、正副委員長によって判断をさせていただきたいと思いますので、構いませんでしょうか。

(異議なし)

◎田中委員長 御異議なしと認めます。

よって、さよう決定しました。

以上をもって、本日の日程は全て終了いたしました。

それでは、明日、午前10時から、委員長報告の取りまとめ等を行います。

これで、本日の委員会を閉会いたします。

(10時09分閉会)